

讃謳我未来

～ 進路指導室だより ～

鹿児島県立曾於高等学校

第32号

令和2年 6月11日(木)発行

3年生の仮評定とは？その重みについて

6月に入り、3年生の進路目標も固まってきたと思います。おそらく「仮評定」という聞き慣れない単語を耳にすることも多くなってきたのではないのでしょうか。今回の進路便りは、まずは仮評定とその重みについて解説していきたいと思います。

<仮評定とは？>

3年生にのみ出される、「曾於高校を令和3年3月に卒業した場合、3学期に出される5段階評定を、1学期の成績や提出物、授業態度のみで判断し仮としてつけるもの」です。

<仮評定の重みとは？>

●**仮評定の結果により推薦入試への出願ができない大学が出てくる。**

仮評定と1,2年生の評定を全て平均したものが「評定平均」です。出願時に「評定平均〇〇以上」という基準を設けている大学もあり、仮評定次第では「出願ができない」ということもありえます。

●**仮評定の値がそのまま大学や企業に渡る。**

仮評定はあくまで「仮の」評定ですが、就職は9月、進学は10月におおよそ受験が始まります。仮評定はそのまま進路先に渡され、その成績もふまえて可否を判断されます。

●**一発勝負**

特に今年は新型コロナウイルスの影響で中間試験が無かったため、期末試験の得点がとても大きく影響します。絶対に欠席しないように健康管理に努めましょう。

《 評定が悪くても諦めるな！ 》

学校とは、「夢を叶える場」です。7月には仮評定も出揃い、進路先に出す評定平均も出されます。人によっては少し物足りない数値が出るかもしれませんが。

しかし、過去を悔やんでも仕方ありません。今こそ自分を見つめ直し、絶対に志望先に合格するぞ!という危機感と使命感をこの機会に持ち直し、面接対策や作文練習、そして基礎学力向上などに本気で取り組んでみてください。そうすれば合格は目の前となるでしょう。

学校は夢を叶える場です!

<トピックス 公務員試験について>

本校の進路指導の特徴として、公務員志望者に対応した指導も魅力の一つです。他校ではなかなか勉強するのが難しい、「判断推理」「数的処理」「作文指導」などが朝課外などで取り入れられています。

公務員試験とは？

公務員になるためには、通常の授業科目の勉強だけではなく、公務員試験特有の問題を解けるようになることが大切になります。

●朝課外では

朝課外では、公務員試験特有の問題に対応するために「判断推理」2時間、「数的推理」2時間、「作文・志望動機」1時間、「公民」1時間のローテーションで行われています。2年生の3学期から申請すればどの学科からも受講可能です。

●土曜課外では

土曜課外では外部予備校の協力のもと公務員模試を実施しています。最低でも5回以上受け、本番の雰囲気や試験に慣れさせる指導をしています。

●その他の支援

放課後に複数回、外部講師を招いて公務員受験対策授業を受けることができたり、作文面接指導を随時行ったりしています。

解けるかな？

判断推理問題とはどんな問題だろうと思った方、ちょっと試しに解いてみませんか？

4人で走った。Aは2位下げた。Bは1位上げた。Cは3位あげた。Dは2位下げた。その結果の順序として可能性のあるものはどれか。

- 1 CABD
- 2 CBAD
- 3 BCDA
- 4 CADB

正解 = 2

受験体験記の紹介（令和2年3月卒業 4期生）

商業科 都城リハビリテーション学院

受験体験記

私は進学を希望し、宮崎県にある専門学校の都城リハビリテーション学院に進学しました。

私が就職ではなく進学を選んだ理由としては私が目標としている夢に少しでも近づくために不足している部分をこの専門学校で学び目標としている夢を叶えるために進学を選びました。

私の夢は、理学療法士になることです。理学療法士は病氣、けが、高齢、障害などによって運動機能が低下した状態にある人々に対し運動機能の維持・改善を目的に運動、温熱、電気、水、光線などの物理手段を用いて治療を行う人のことです。私は中学の頃に足のけがをしてしまい、歩くこともかなりきつい状態でした。そんな時に私のけがをサポートしてくれたのは理学療法士の方でした。その方は、私のけがの状態を聞き私のことを心身ともにサポートしてくれました。その姿に憧れ私も理学療法士を目指しました。理学療法士になるために私はこの専門学校で、解剖学や生理学等を学び、必要な知識を高めていき、そして最終的には国家試験合格を目標に頑張っていきたいと思っています。

私は学校推薦で受験をしたので面接だけでした。指定校推薦の人たちは面接のほかに議題が出され、その議題に対して5分間自分が感じ思っていることを面接官の前で発表するものがあると聞きました。また、一般入試の方は面接と学科があり、試験では、数学I、数学A、コミュニケーション英語I、IIがありますので、一般入試で受ける人はその教科の部分を勉強して挑み、面接の場合は自分がこの専門学校を選んだ志望動機をしっかりと答え、ほかの質問の対策もしておくことで大丈夫だと思います。私が面接を受けたときは、ここ最近気になっている世界のニュースについて、なぜ理学療法士になろうと思った等を聞かれました。面接時間は約10分で指定校推薦の方は議題の5分間をプラスして15分間だと聞きました。他にやっておくべきだと思うことは面接練習を何度も繰り返し、本番に向けてなれておくことも大切だと思いました。

私は、商業科で取得した資格や学んだ知識を生かせる事務の仕事に就きたいと考えていました。財宝の職場見学に行き実際に職場の様子を見たり話を聞いたりして、自分もここで働きたいという気持ちが強まりました。

就職試験に向けてまずは、志望動機や自己PRなどを面接ノートに書いて先生に添削してもらい、納得のいく文章になるまで何度も書き直しました。特に自己PRでは、今までの自分について詳しく振り返ることができました。普段考えることのない長所や短所、高校生活で最も努力したことなど自分と向き合うことができたので良かったと思います。

特に一番大変だった面接練習では、姿勢やお辞儀の仕方、声の出し方、表情などを細かく注意されました。初めのうちは姿勢が悪かったり、声が小さかったりと改善しなければならないところがたくさんあり、とても大変でした。

また、先生との面接練習では緊張して思っていることがうまく言えないことが多く、試験までにちゃんと出来るようになるのかと不安になりました。ですが、夏休みの間にほぼ毎日学校に来て面接練習をしたおかげで、夏休みが終わるころにはある程度は自信をつけることができました。夏休みが終わってからも、授業で面接練習を行ったり、放課後先生に面接の指導をお願いして回ったりしました。先生方からたくさんのアドバイスをいただくことができ、改善点を詳しく知り、改めることができたので良かったです。

試験前日の夜は面接ノートを見返したり、自己PRや志望動機など面接ノートに書いたことを口に出したりなどして、本番に備えて早く寝ました。試験当日の面接では3:1の個人面接で、今まで練習してきた成果が出て割と落ち着いて答えることができました。筆記試験では自分で参考書を買って、一般常識の問題を解いていたのでまあまあ出来でした。作文もあり少し難しい題でしたが、初めに段落構成を考えることでスムーズに書き終えることができました。

就職希望の後輩の皆さんは、何か一つでもいいので自分のアピールポイントを探してください。面接をする上で強みになると思います。不安になることも多いと思いますが、練習を積み重ねれば自然に自信が付いてくるので自分を信じて内定が貰えるよう頑張ってください。